京城新聞

雨聲蕭々
勿禁生

▲人は十人十色で其の人に依つて心も違ひば言ふ事も異なつて居る、從つて先方の人の意見が自分の所思と杆格齟齬して居るからといつて強ちに自分の意見通りに先方を引付けやうといふは極めて理不盡の話である併し中には其の思ふ事と行ふ事がテンから違つて居る卑劣な人物があるから世はまことに面倒になつて行くので從つて癪にも障れば意地も燒く人物が出來て來るのである、

▲所で新聞紙の品性……新聞記者の操行……とかに就ては今更ながら事新らしく爰に努々の言を費す迄もないツマリ之が新聞紙の品性は飽迄高尙で又之に從事する新聞記者の操行は極めて醇潔でなければならぬ、而して此の品位の高尙さか操行の醇潔といふ事は苟も筆を執つて世に處するものゝ誰でも承知して居る紋切形の文句である併し人に依ると好んで是等の立派な言を口にしながら實際其の胸三寸を裂いて見るとナカ〳〵什麼してソウでない者があるから實際面憎くなる、

▲否な成程新聞紙の品位はまことに高尙であらう從つて之に從事する新聞記者の操行は實際誰が眼にも醇潔であらう……ダガイクラ其の新聞紙の品位が高尙でも記者の操行が醇潔でも旣に其の新聞紙としての主義を沒却し、記者としての本領を放擲したならば最早其の新聞紙は世に對し人に對して何等の價値もないではないか、否な寧ろ斯うなつては、彼の惡德不正を縦れ事とするゴロつき新聞に劣ること萬々であらうと思ふ、

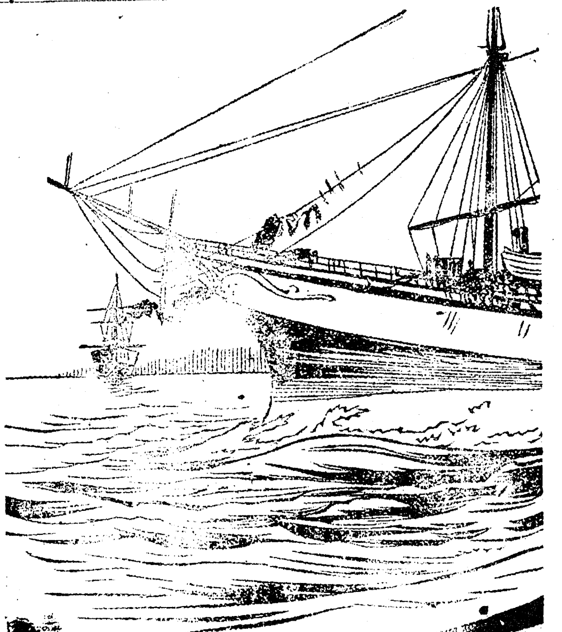
▲顧つて品位とか操行とかいふものは強ち表面上他人に對して其の献酬應接の跡が優雅で且つ其の身を持することが穩和であるといふ意味ではない、ツマリ内に一片動かすべからざる信仰(惡き意味の信仰にはあらず)と俯仰天地に耻ぢざる確信とがあつてこそ初めて其の人物の價値があがり從つてこれと同時に高尙なる品位とか優雅なる氣品とかゞ自然と備はつて來るのである、彼の徒らに口の先きでのみで品位の高尙操行の醇潔を叫んだ所で旣に其の咽喉の內奥にある忌むべき厭ふべき一塊の腐肉が宿つて居ることを看破されたならばイクラ今更らながら立派な事を言つた所で聞くものは本統に受けないのみならず、却つて自分の醜氣を自分の口から世に放つやうなものだ……雉は默して獵夫の去るを待つて居るのが安全である、

▲トいつた所で京仁はおろか朝鮮全体コウいふ卑劣な新聞記者は居るまいとは思ふが數の中には何んとも斷言は出來ぬ……意外々々……或はそんじやうソコラあたりに轉がつて居るかも知らぬ……漸々と軒端を打つ雨聲に聞くと何となく其の邊の消息を語るかのやうに思はるゝので……

●園藝 農產物需給狀況(續)
(丁) 種子及苗

仁川附近に在りて商業に從するものは傍ら農業を兼ね營むもの多く從て蔬菜種子は多く之を日本に仰げり少量なるときは小包郵便又は農業見本として第五種郵便に依り多額なるときは船便又は鐵道便により輸入するを以て其年額鮮からさるが如し支那人の蔬菜栽培に從事するものは其種子を母國に仰ぎ是亦相當の額に上るもの〻如し苗木は櫻、梨、桃、林檎、葡萄、桑等最も重なるものにして農園植付の爲め時々輸入ありと雖も平常差したる需用なし盆栽用として松竹梅、躑躅其他の苗木を根付のまゝ輸入することあるも居留邦人一部の觀賞に止まり其額未だ多からず山林用として松柏楊類は韓國政府造林用の爲め昨年に掛け多少の輸入ありしが如し今各品種につき計數的數字を以て其輸入額及需用の程度を指示するは頗る困難のことに屬す

小說 新不如歸 (五十)
篠原嶺葉著



「して何時御出發になるんです。」
「明後日の夜行で立つ意なんだ。」
「明後日……。」
と、百合子はあまり突然のやうに思はるゝので、愛らしい目を睜つた。
「だから、モウ二日ばかりしきや一緒に食べられんと云つたぢやないか。」
「なる程然でしたね。」
と、首背じた。
「それでね、百合子さんもう少し此方へ寄り。」
百合子は云はるゝまゝに傍に近いた。
敏男は次の間へ氣を配つて、そして低い調子で、
「百合さんに賴むで置く事があるんだ、外の事ぢやないが、私が出發するに就いて他に心配な事は何にも無いが、唯百合さんの事が一つ心配で堪らんのは、と云ふのは、まだ來たばかりで家の勝手も能く分らないのに、大きな聲では云はれないが、母は隨分我任意で口喧しい方だから私が居れば何にも云ふ氣遣はないが、私が出發して二ケ月も三ケ月も不在になると、永い間には必然辛抱の出來ないやうな小言を云ふに極つてるが、百合さんのやうな優しい氣性では到底もそれが辛抱が出來ないだらうと思ふ頼みと云ふのは此處だ、假令母が甚麼口喧ましい小言を云はうとも、外に甚麼辛い事があらうとも、私を思つて下れる愛情があるなら其處を一つ辛抱して貰いたいのだ、永くて三ケ月、九十日だ、早けりや二ケ月六十日だ、友達がなくて淋しいであらうけれど、どうぞ辛抱して待つて居つて下れ百合さん、辛抱して下れるだらうね。」
『そりや有仰らなくツても、甚麼辛い事でも辛抱致しますけれど、私異個何にも出來なくつて行屆かないのですから、貴方から母樣によく賴むで置て下さいませんか、私もそれが何よりも心配なんです。」
『そりや賴む所ぢやない、私から母に能く話て置くが、若淋しい時には實家に行つて遊んで來るが可い……母に濟まない何有那麼事は遠慮するに及ばんよ、私の留守にや何にも百合さんの爲る事なんかありや爲ないから、其事も私が母に能く言て置くよ。」
『相濟みませんけれど、どうぞ賴みなすつて置て下さいまし、そして貴方取調が濟みましたら、成だけ早く歸つて來て下さいな、私異個指を折つて待てますよ。」
『用向さへ濟むだら、百合さんよりも私の方が會たくて堪らないから、船や汽車に後押を付けて歸つて來るさ、はゝゝゝ。」
かくて敏男は、其翌々晩の急行列車に乘つて最愛の新婦を後に、遂に內國へ向けて出發したのである。

◉蓄音器 各種 新譜 各種 新荷着
東京三光堂 蓄音器韓國總代理店
京城本町 辻屋 本店電 二四八 支店電 三六六

▲京龍醫師案內▼

應診療 入院隨意 龍山旭橋通 久木田醫院

入院隨意 龍山老松町 上田病院 電話一二八番

內科 眼科 婦人科 小兒科 入院隨意 吉田病院 南山町三丁目

入院隨意各科診療 共立病院 京城本町六丁目

京城西小門通り 京城醫院分院 院長 菅恒

黴毒 黃疸皮下注射療法 包莖無痛手術 內科 外科 婦人科 眼科 小兒科 戶田病院 京城南大門通一丁目日の出旅館に

新皇城 大漢門前 日韓病院 見習看護婦募集す希望者は本人來談あれ

內科 外科 婦人科 入院隨意 植村病院 京城南山町二丁目 (電話三三〇)

入院隨意 高井醫院 京城壽町三丁目(元阪井病院跡) (電話二一六番) 院長 陸軍三等軍醫正 高井貞治

病室新築入院隨意 內科、小兒科、花柳病 眼科、外科、婦人科 中島醫院 京城壽町三丁目 淸水材木店跡 院主 醫學得業士 中島貞信

◉夏物大賣出し
嶄新奇拔 歐米最新流行品
夏帽子 洋傘 空氣呼鈴
京城本町六丁目 雜貨商 中塚支店
◉正札より二割引

親箱ノ意匠ガ頗ル高尙ニシテ贈物ニ好適ノ評アリ
韓國煙草界ノ大發展ヲ見ヨ
今ヤ母國製品ヨリ優良ナル物ヲ生產シ得
新製品 黃卷 安價金三錢 拾貳本入

發賣披露トシテ當分金貳錢五厘
廣江商會

生石灰 製造販賣 仁川電話六十二番 八田商店
特約販賣店 京城本町電話六十五番 林田金次郎
龍山榮町電話一二九番 田淵藥店

夏季飲料 警視廳御檢查濟 ラムネ
京城旭町二丁目 竹田林太郎製造
技師藥劑師 濱口源太郎
製造者 馬渡壽造

㊐ 日之出足袋發賣元 本町四丁目 林呉服店 電話六五二番

京城新聞

國民に對する報告

伊藤統監の東上も近きに迫る、余輩は統監の歸東に就て深く待望せざる可らざる事あり、統監歸東の上は公會に私會に韓國經營の現狀を報告せらるゝの機多かるべし、昨冬歸東の際にも隨所に於て統監政治の功蹟を吹聽せられ前途の經營に就ても大に光明あるが如く述べられたるは今尚ほ記憶に新なり、當時余輩は其報告を聞て何となく不快を感せざるを得ざりき、幷は報告が餘りに善良なる方面にのみ涉りて暗黑なる裏面の消息を灑さゞるの觀ありし爲なり、故に余輩は今次の歸東に於ては裸躰的に現狀を報告せらるゝ事を切に望まざるを得ず。

帝國の海外政策は常に緩漫に失すること多し、之を刷新して進張せしむることは方今の急務なり、當局者常に與國一致を叫ぶも其實を行はざるの憾あり、要するに海外政策の發展は擧國一致之に勉めざる可らず、然るに當局者は口にのみ之を語りて事實に於ては國民に對する擧動甚だ冷淡なり、例せば韓國經營に就て當局者の報告が殆ど眞面目を缺ぐの觀なきに非ざる乎、暴徒の鎭定は近し二千の憲兵を增加すれば安寧を維持すべしと聲明して舌根未だ乾かざるに暴徒は益々猖獗となり、終に軍隊を增遣するの止むを得ざるに至れり、國民は表面經過の善良なる報告を聞きて韓半島の事は最早懸念することなし、帝國第一流の伊藤公統監として半島にあり、と安心する間もなく暗黑面の報告傳はり、失政の箇條歷々として赤報せらるゝに至りては驚愕と共に不安の念を抱かざるを得ず、事茲に至りては統監政治の事績に向て猜疑の眼を放たざるを得ざるなり、帝國が財政窮迫の中より數百萬圓を無利子無條件にて貸與し加之多大の軍費を費消せるにも拘らず、其効績の見るべきものなきは何故ぞや、當局者は三年に亘りて何事をなしつゝあるか、過激なる或る論者は統監府は無用の長物なりと絕叫せるにあらずや、惟ふに斯る誤解は當局者が國民に對して冷淡なるより起れるなり、其報告の如き常に眞面目ならざるより誤解を招くなり、故に當局者は宜しく現狀の有の儘を報告し失政も暗黑面も更に蔽ふ所なく國民に告知すべし、斯くすれば誤解を招かざるのみならず眞に擧國一致の實を擧げ得べし、國民は決して當局者に向て非理を言はざるべし、韓國の現狀にして實際困難の事情ありて其効果を收むるに歲月を要するとせば之を待つの外あらず、其困難なる事情が何人を以てするも排除し能はざる事あらば國民は喜で諒すべし、唯徒に失政を蔽はんが爲に裏面の報告を避るが如き女々しき擧動は當局者自身の信を失すると共に帝國の海外政策を誤る基なり、故に余輩は統監今次の歸東に際し深く此事に注意を促し常に擧國一致を念頭に離さゞらんことを希望するものなり。

漢城便り

▲新內閣の大藏大臣に何人を擧ゆるかは大疑問に御座候平田東助男の適不適曾禰副統監の轉任なぞは問題に登するまでも無之と被存候或人申候に今の大藏に最も適任なるは山縣老公なりと記者もソレ或は而からんかと被存候

▲目下我政府財政の困難を救はんとせば勢ひ陸海軍事業費の繰延及削減を斷行せざるべからず而して之が斷行にはサーベル界の長老を煩はさざれば到底他に方法有之るべしとも思はれ不申候茲に於てか老公の出馬は思も寄らずとするも必ずや老公の信任する部下の一人を大藏に据付るは蓋し當然の措置ならんかと被存候

▲伊藤統監の歸朝も近々と相成候に付居留民公の爲に送別の宴を催ほし候由至極結搆の事と存候記者は政治の得失以外に於ては春畝老先生に向つて多大の敬意を拂ふこと躊躇致さざるものに御座候尤も右は世人が高麗燒に對して有する敬意と略ぼ相似たるものなるやは勿論の義に御座候

▲捨名取實を唱へて解せざるは寺內公に御座候捨名取實を唱へずして解し之を實行するは西湖子に有之候拓殖、產業、金融等を眼中に置くの政治は乃ち近世的政治と申す者に御座候古風なる統監政治もモデレナイズさすれば多少の脈は無之とも限り不申候

▲第一銀行舊券の紛失高が百萬圓に達するならんとの風說相傳はり申候併し斯は單に風說に過ぎざることゝ存候何と考候とも百萬圓の不當利得の有りうべき筈は無之候但し已に斯る風說起りし以上は右に付少しく研究するは強ちて無用にも有之間敷尤も是に先立ち當局者が相當の說明を發表し世人の惑を解るゝは目下の必要事ならんかと相考られ候

▲口は禍の門

桑港電報

コロラド州民主黨大會に於て會員の一人は日米戰爭を豫言したるため聽衆の怒りを招き殆んど毆打されんとせり又其の演說は中止せられたり(九日東京經由)

▲松島艦溺死者

東京電報

松島艦乘組員の死体は續々艦內より發見せられたれば不日收容を終るべし艦體は諸機關を取脫したる上解體して引揚げらるべし(九日發)

▲基督青年會米艦歡迎

東京基督教青年會は米國艦隊來訪に就き日米間の國際交誼を厚くする主趣にて準備委員を設け歡迎すべし(十日發)

▲軍艦千早拔錨

釜山電報

軍艦千早本日午前九時竹敷に向け出航せり(十日發)

▲馬山線一部運轉停止

馬山電報

馬山鐵道は本日より午後七時二十五分發及び十時五十分着列車の運轉を停止せり(九日發)

雜報

●韓皇の齒病

韓皇帝には此程より齒の病に罹らせられたるを以て一昨日は多數の典醫及び齒科醫等參內し拜診申上げたりと云ふ

●伊藤統監送別會

伊藤統監は來る十五日頃出發歸朝せらるゝに付在京官民は之れが送別會を催さんと計畫中なりしことは既報の如くなるが右は愈よ來る十二日午後六時日本人俱樂部に於て催すことゝなりたり

●李完用渡日に就て

總理大臣李完用氏が伊藤統監の歸朝と共に太子少師として渡日すべしとの說あることは前報の如くなるが果して渡日するや否は未だ確かならずと

●帝室財產引繼結了

帝室所有財產を國有財產に移屬せられ之れが引繼に就ては數日前より準備中なりしが愈よ昨日を以て全部の引繼を終了し事務官の分擔も同日決定したりと云ふ

●圖書檢定法制定

官公立學校に使用する教科書は學部に於て編纂出版せしも今後教育熱の勃興すると共に民間に於て教科用書の著述出版を企つるものあるべく此等の教科書を無檢定にて使用せしむるは國民教育の統一を缺ぐの虞あるを以て學部は學校教科書は總て同部の檢定を受けしむる事と定め目下其の檢定手續法の制定に着手し居れり

●私立學校補助規定

學部は私立學校令の制定中なる事は幾に報道したる處なるが同法附屬法規として私立學校補助規程を制定する筈にて此の規程は私立學校を指導して其の堅實なる發達を圖るため其の設備の完否規模の大小に應じ一定の補助金を與ふる事を規定するものなり但し現今に於ても私立學校中學部の補助を受け居るもの多數ありと云ふ

●學校認可規則發布

文官任用令には官立高等學校又は學部大臣が此れと同等と認めたる官公私立學校の卒業生は無試驗にて判任官に採用する事を得るの規定あるも未だ學部大臣が所謂同等と認むる事に關する規則無きを以て學部に於て學校認可規則制定中にして遠からず發表せらるべしと云ふ

●龍川府土地問題

一進會員對西北學會員の係爭問題となれる鴨綠江畔なる龍川府西面の未墾地は二年前農商工部が國有地として一進會員へ借地の許可を與へたるものを本年に至り帝室有及び國有財產調查局が既報の如く雲峴宮の請願に依り充分なる調查を遂げずして同宮所屬なりと決定し同宮は此れを西北學會に貸與したるため兩者其の權利を主張し遂に今回の問題を惹起したる次第にして調查局は初め決定を下したる後農商工部に對し同部が一進會員に與へたる許可の取消を求めたるも同部は調查局の決定を正當と認めず其の取消の請求に應せず爾來未解決の儘に在り然るに調查局は過日の宮內府所管財產國庫移屬と共に廢局となり其の事務は度支部に引繼がれ度支部には既報の如く國有財產調查局を新設せらるゝ筈なれば同局成立の後此の問題を調查して最後の調查局の決定を取消すか或は有力なる證據を提供して農商工部の許可を取消さしむるか又は兩官廳共各自に其の處分は正當なりと主張せば閣議に於て決定せらるゝ事となるべしと云ふ因みに西北學會を代表せる李甲氏は昨日實地の調查を終へて歸京し本日農商工部を訪ひて申述する所ありたる由なるも此の問題は農商工部の主張正當なるが如きを以て西北學會員は目下着手せる開墾工事を中止する方却て利益なるべし

●憲兵江上に狙擊せらる

京畿道楊州分遣隊より橫城分遣所に赴任すべき憲兵六名は船舶に乘じ漢江溯航中六月廿七日蠶島を距る東南三里の江上に於て後尾の一隻は約五十の賊に射擊せられたれば前行せる一隻は直に引還し賊を擊退せしが此際荷物の護衛として後尾の船に乘組みし憲兵一名行衛不明となり百方搜索せしも遂に屍を發見せず折柄の降雨增水の爲め流失したるものならんと認められたり

●漢江警戒とジャンク

漢江流域の航行を安全ならしむる爲其の筋に於いては幾に武裝せる警邏船を常置し以て海賊の出沒に備ふる計畫ありしも經費に餘裕なきを以て本年は暫らく此不便を忍び唯だ陸上の警戒を嚴にするのみに止め大曲に駐在所を設置したることは既報の如くなるが其の後の同流域船舶航行の隻數を聞くに去月十五日以來仁川港より麻浦及龍山に向ひたる日本船は僅かに二隻なりしのみなるが支那ジャンクは相不變續、石材を積みて麻浦方面に向ふもの頗る多く今日まで仁川稅關に屆出でたる分のみにても既に十艘の多きに達し居れりと云ふ之れに密航行者を加ふる時は或は二十艘以上に達し居るやも計られずと云ふ

●賊魁李康年の到着

清風附近にて捕はれたる賊魁李康年は京城に向ひ護送中なりしが一昨日無事京城憲兵分隊に到着したるを以て藥師川少佐主任となりて豫審を開始されたり

●上半期仁川輸出米

本年上半期中に韓國諸港より諸外國に輸出したる韓米の總額は實に三百三萬七千七百七十圓の多額に達し韓國輸出品額の過半を占むるに至れるが今本季期中に仁川より諸外國に輸出せる總額及其輸出狀況を調查せんに輸出米總付數千十一萬七千八百斤にして價格四十四萬三千五百六十三圓なり而して之れを四十年の上半期に比すれば實に驚くべき減少を示せり即ち昨年上半期間の輸出額は二百九十五萬斤價格百四十四萬圓に比すれば斤量に於て百八十四萬斤價格に於て七十萬圓の減少を示せり今三十九年より本年迄の上半期輸出高を表示せば左の如し

	卅九年上半期	四十年同	四十一年同
斤量	八四〇、六〇三斤	二、九五五、六七八斤	一〇、一一七、八〇〇斤
價格	四三、三四〇圓	一、一四七、〇一七圓	四四三、五六三圓

●江界邑內の金融

平安北道江界邑內は日露戰役以來引續き地方不作の爲め一時非常に金融切迫したるも明治三十九年中同地守備隊駐屯後は荷物の運送等により多額の金員勞働界に散布せられ又糧食品の購入其他に方て地方に散したる金額少なからず殊に昨秋耕作物豐作なりし爲め昨今邑內市場の金融日に豐となり加ふるに本年五月より新たなる金融機關として財務所內金融組合より數千圓の貸出金ありたる爲め城內の影響一層好景を呈し市場の取引も昨年の當季に比し著しく良好にして家屋宅地の價格の如き殆んど二倍に騰貴せりと云ふ

●新昌の學事

咸鏡南道新昌邑內には順德、觀龍、新興の三學校あり生徒總數約百四十教師四名あり普通韓人家屋を以て校舍とし書籍を膝上に載せ机等の設備なく不規則の教育にして順德觀龍の二校の如き全然私塾の如く新興學校は稍々新式の教授を爲し日語等をも其課程中に加へ居れるを見るも教師すら殆んど日語を解せざる程度也と

●咸鏡北道の主要產物

咸鏡北道の主要產物は牛、麻、紙、馬鈴薯、蠶糸等にして其の現況を聞くに▲牛は本道特產物中其の主なるものにして体軀の偉大なること他道產の及ぶ所に非ず毎家殆んど一頭を飼養し一ケ年の外國輸出額は海陸兩途よりするもの二萬頭の多きに上り此の地方の紳商富豪と稱せらるゝもの皆此の牛によりて巨利を占めたるに基かざるはなし故に是が蕃殖及輸出を獎勵し又食牛的に改良するため西洋種の牡牛を輸入して雜種牛を產せしめ一面牛疫豫防の方法を講ずるは目下の急務なり▲麻は本道及び咸鏡南道並に間島地方に於て盛に耕作せられ且つ其の布を農家の副業として盛んに機織せらる而して其の耕作に於ては播種作畦施肥の方法其の製造に就きては蒸方織方等未だ甚だ幼稚なるを免れず然れども其の原質の良好なるは成長の容易にして長一丈餘に達し直徑一寸以上に及ぶものあるを以て此れを知るべく麻布は平安道方面迄輸出せらる▲紙は本道富寧郡に北黃紙なるものあり野生の耳麥を以て製造し元價倨の栄に屬し經理院より腋々命じて進納せしめ宮中にては缺く可らざるの用途ありて昨年も同院より上納を命ぜられしも其の業中絕して今は其の機械だに存せず而して此れを新造するには資本金を要するを以て終に上納に應ずる能はざりしと云ふ

●大韓日報の發刊

新活字到着につき整版部整理の爲め休刊し居りし大韓日報は昨日より發刊の筈なりしも都合により本日より發刊の由

●櫻井丸出發見合

昨日仁川を出帆する筈になりし櫻井丸は天候不良の爲め出帆を見合せたり

●仁川の蒸氣ポンプ

仁川は既往再三の火災に遭遇したる爲め今後の萬一に具へんが爲め今回蒸氣ポンプ一臺を購入すべく此程東京某店に注文せり

●井上書記官の渡清

宮內府書記官井上雅二氏は來る十二日賜暇に依り北清地方漫遊の爲め旅行の途に就く筈なり

●津輕伯の歸朝

宮內府書記官津輕英麿伯は賜暇を得近々一時歸朝さるゝ由なり

●教員講習會出席

第一小學校訓導波江次雄第二小學校訓導山本吉久は東京に於ける夏期教員講習會に出席の爲十日出發せり

●大橋主事出張

愛國婦人會主事大橋次郎氏は昨日出發約十日間の豫定にて群山木浦地方へ出張したり

●農商工部秘書官決定

農商工部大臣秘書官は豫報せし如く趙法部大臣秘書官轉任する事に決定せり

●對星樓茶話

△前茶話にて觀察致候如く元老會合の結果は韓國の人心に頗る慰籍を與へたるの形勢となり、之が爲めに久しく漢城の政界を密閉したる排日行動の門戶を開放しつゝ相見受候、是よりは追々暴徒の巨魁も捕獲せらる可く、暴徒の大系統を鎮滅せしむるの端緒となり、聊か半島治安に一條の微光を認むるに至りしを深く感謝す、吾人は統監公の各政蹟中這般の處置を以て尤も巧妙にして卓越せる政蹟として評判するものにて候

△然し乍ら元老と申せ彼等も亦韓人也、韓人は遂に傳來的外交若しくは覆面的外交を忘却せる一種奇妙なる人種にて候間、善く遇すれば直ちに自ら政權を獲得したかの如く想像し、之が爲めに紛訌異論の起ること珍しからず、當局者が此慰籍を濫用せらるゝ樣祈候

△クロマー卿の周圍には佛國の勢力も有り獨乙の勢力も有り、統監の周圍には今や何等外國關係の代表勢力は無之候、成べく短日月の間に於て帝國勢力の充實を期待仕候

△韓國策士來りて曰く日本內閣更迭せりと故に漢城政府も變改すべしと、若し答へて左樣ならんと申したならば彼は直ちに流言を放たん曰く李完用內閣變改すべしと、漢城の風說就中韓人の風說はピンデーよりも敏なり、ペスト菌よりは猛烈なり、之を察せずして其中毒を知らずして風說毒に罹れるもの尠からざるは無し。

△韓人に交際すれば一種の中毒に罹る、之を解毒するものは只だ帝國旨義のみ。

△愛國婦人會や、赤十字社は國家の社會的事業にて候、社會の社會的事業も尤も肝要也。

●近事片々

△南山に雲霧掩ふ時は漢城は雨也。

▲文豪 ゾラの「巴里」飜譯に西園寺侯が賛の詞を題したる事內閣瓦解の原因とは珍

▲瓦解 を一個月半前に豫報したる巴里の新聞は奈邊より其動機を素早く聞得たるか

▲憲政 黨內閣の時文相尾崎が共和政体云々の演說は端なく內閣瓦解の因を爲したり

▲巴里 新聞の豫報は些と穿ち過ぎたる觀あるも絕對に此事なしと斷言するも誤り也

▲內務 省が飜譯「巴里」の發賣を禁止したるも此邊の消息よりに非る乎偖も神經過敏

▲列國 に卓絕せる帝國の國体を知るものは謹愼を要す陶庵學堂共に不謹愼の譏不免

▲新內 閣組織の表發せられざる間は閣臣の顏觸批評は盡きず段々新顏も現れ來る也

▲伊東 巳代次入閣の說尚ほ盛なる樣子有るが巳代次は如何あるべき余り適材には非ず

▲一說 には曾禰子藏相となり巳代次子副統監たるべしと言囃さる此說は些と繰違し

▲若し 巳代次にして副統監となる時は伊公の他に轉じたる後なるべしと或は然らん

▲伊公 巳代次子との關柄を能く知る者は此說に首背せむ今や桂と伊東は離る可らず

▲先年 桂內閣組織の時永田町伊東邸は內閣組織の事務所也此時より桂巳の關係深し

▲巳代 次子は閣員に列せざるも全然桂侯の謀師にして常に背後より極力應援せりき

▲今回 も入閣せざるとするも有力なる應援者たるは明也山縣公の信任も極めて厚し

▲後藤 小松原の入閣も異なるべし唯だ後藤男が直に入閣するや否は茲疑問に屬せり

▲小松 原の文相は彼是言ふの價値なきも渠は桂內閣の伴食には非ず參謀長の一人也

▲桂侯 にして思切て新顏に依り內閣組織をすれば隨分有爲の內閣を組織するを得ん

▲內相 大石正巳外相後藤新平藏相田尻稻次郎遞相伊東巳代次法相奧田義人等は如何

▲其他 文相一木喜德郎農相小松原英太郎等の役割をせば活氣ある內閣成立すべしと

▲政友 會の一部は非常に强勢を示して桂內閣と決戰せんず意氣込も唯夫れ表面のみ

▲朝 利權問題起りて銅臭紛々とすれば皆な腰を拔かして御用を勤む腐敗の絕頂乎

▲京都 大學文科講師囑托たる露伴氏居を淀川の邊高槻にトす家賃大枚六圓也と云ふ

▲居を 此處にトせしは平生好む所の釣魚を爲すの便なりと露伴氏の遊樂極めて淸也

▲流行の魁 新柄ゑり地帯あげ其他種々 取揃へ店頭へ陳列致置候間御散步御來觀被下度候

京城明治町一丁目 ゑり德商店

社告

今回京城新聞を創刊仕候趣意に付ては偏に讀者諸君の御諒察を仰ぎ候微力素より當らずと雖も諸君の御同情に答ふるの覺悟に御座候間何卒舊京城新報同樣御愛顧の程伏て願上候
追而舊京城新報社に關する債權債務其他發務の一切は當方にて取扱申候に付左樣御承知相願申候

明治四十一年六月七日
京城西署西小門通
京城新聞社

●薫風南山の夢（續き）

△可憐少婦不知愁▽

既に世に隱くれなき大頭領に册づくことになりたるは賤婦れ蝶に取りては之れ第一の光榮なり而ふして湘南に伴はれ東都に伴はれたるは之れ第二の光榮なり郷里萩に昔に變る韓錦を飾りたるは之れ第三の光榮なり斯かる光榮を有する間に大頭領はれ蝶に何と叩き賜ひたるか彼れが萩に得意の幾日かを送りたる上再び大頭領の後追いて歸來し彩ぞ敷ちの氣烟て怪しきものあれれ蝶未だ養女とし巴城舘に在りける頃彼れは抑も透ても見ゆる其胸に何事をか畫きたるぞ戀は半白の虎髯古稀にも近き老軀を夢みることは迚もあらざりけんも縁は不思議の者なるよ出雲の神ならぬ大頭領の戯れにれ蝶の虚榮心ムラ〳〵と動いれる後ちは多くの召使いの前にも惚けは常に半白の色男爺やに似たる殿樣のことばかり、彼れも買つて頂いたる者此れも拜領の品彼樣も曰いぬ斯うも可愛がりぬと無我夢中の有樣なるにぞ召使どは云へ實は朋輩同志の心安さには大頭領が從來の經歷を説いて滄浪閣上光菊以來の例を惹き悶燒半分れ蝶に注告したるもありたれどれ蝶は未だ無邪氣否とよ殿樣は然く薄情の人にはあらじ譬へ此れまではこれ迄としても此のれ蝶に限つて去る無道の事はなし賜はぬ約束若し殿樣に暇を頂く時は郷里の萩にも東京にも大きな邸を築き成して何不自由も無き身となし賜ふと堅い〳〵御誓ありたれば今に妾も世に一廉の女夫人にして廣い邸宅、中朝な夕なの化粧の者は素より世の貴婦人とやらのする程の贅は何一ツ劣らずに成して見せますと致しますと可愛らしい事を云ひ居れりとか、哀れ蜂蝶長へに彩花に戯るゝを得ぬ世なりとも知らぬれ蝶こそ實に無邪氣いぢらしの者なりけるよ何れは來べき秋の木の葉とも見紛へらるべき蝶もあるものを可憐少婦愁を知らぬ間こそ花なりかし（たはり）

●保安規則と退韓處分

△無賴漢處分さる

久しく京龍の間に在留して表面土木受負其他を業とすれども其實眞面目なる生業に從事せざるのみならず賭博或は困子金取りなど不良のことのみを爲し屢々世人に迷惑を衆らしめたる左記七名の者及び無職業者にして恐喝賭博等を事とした五名は何れも一昨日左の通り處分されたり

兵庫縣生れ龍山永樂町土木受負業田中竹松（三七）兵庫縣生れ南山町一丁目土木受負業田中千代（三）大阪生れ南山町二丁目大工永井長次郎（三八）大阪生れ龍山榮町土木受負業尾崎安太郎（三）岐阜縣生れ龍山元町土木受負業上田菅吉（三九）大阪生れ東大門外居住石工西田嘉藏（三）山口縣生れ旭町一丁目土木受負業河口又吉（三二）

以上七名は地方の安寧を妨害する者とせられ明治廿九年法律第八十號清韓在留帝國臣民取締規則第一條に依り去る九日より向ふ二ヶ年間韓國在留を禁止せられ

福岡縣生れ大和町二丁目片山仙治（三）大分縣生れ旭町一丁目河野三郎（三四）島根縣生れ龍山居住濱崎岩吉（三）兵庫縣生れ龍山居住風早龜吉（三）德島縣生れ松尾豐吉（三二）

の五名は何れも保安規則第一條に依り去る九日より向ふ十五日以內に職業を求むべき旨申渡されたり

●三色の優曇華

長谷川大將官邸馬丁小屋に開く

優曇華は世俗に珍らしき者として奇瑞の一に數られてある、昔しから優曇華が咲くと何か又なき福運が來るとか或は凶變に會うとか云傳へられて居る、夫れで此の優曇華が此の數日前長谷川大將官邸の馬丁小屋に咲いたと云ふので界隈の評判になつて居る、記者もツイ釣り込まれて去る家にあつた優曇華を見たがこれは右の馬丁小屋の柱から能々倒り落して持つて來たものである記者の見たのは紅白の二種であつたが馬丁小屋に咲いたのは紅白青の三種であるとか夫れが天井板、柱、電燈のカサ等に十二三ヶ所咲いたと云ふので此れは奇瑞の中の奇瑞今に何事かあるのであらうなど〻云ひ噺して居る、世俗の噂は全く面白い者だ之れたから或は今年も亦動亂が起つて大に長谷川大將を煩はすのではあるまいかと云ひ、或者は又伊藤統監が歸國するから今度は長谷川大將が其の後釜に据はつて統監と軍司令官を兼ねて日本と韓國の爲めに盡くすの前兆だと云ひ夫れは〳〵大した評判である優曇華が何の兆となるか記者は知らぬが兎に角茲には聞いた儘見た儘を記して置く、因に優曇華が世俗の云ふ如く植物性の者で無い事は今日更めて云ふ迄も無い事である

●光州地方の水害

客月廿八日以來光州地方降雨引續き各河川出水多量にて潭陽郡內にて橋梁二流失し榮山浦在留日本人家屋十戶韓人家屋二戶床下に浸水し南平郡內にて橋梁一流失し其の他の各縣多少の出水ありたるも人畜には被害なしと

●類似虎列拉發生

一雨一晴時ありてか鬱陶しつてか冷〳〵此頃の天候人體に寄するのみならずかゝる時こそ諸種の惡疫發生すべきなめりと思ひ居りたるが果然昨十日南大門外御成町一四四安村テツ（三十）は類似虎列拉に罹り目下手當中なりと此際一般衞生上の注意一層肝要なるべし

●天然痘

長谷川町一丁目四十一番戶清水せん（四十）は一昨日天然痘に罹り避病院に送らる

●不屆な雇主

京都生れの高木俊一（十九）畑井末廣（十九）の兩人は客月廿四日頃より大和町二丁目糸澤憲人方に奉公中の處此程滿洲に向け一稼ぎ出掛けんと決心し主人に暇を乞ひ豫て預け置きたる現金十二圓九十錢及び是までの給料とを請求すれども憲人應せず遂に兩人は警察に説諭方を願出でたれば憲人は召喚されて其の不屆を戒められ昨日中に支拂ひたる筈

●色男と桃太郎

新町清月樓に桃太郎と云ふ阿婆摺れ妓あり此阿婆摺れ桃太郎の許に通ひ來るは或る會社に勤むる自分許の色男の某にて或る宴會の流れより清月樓に繰り込み桃太郎を招びたが抑もの始まりにて桃太郎は此色男が女にしても欲しいと云ふ優しき姿なると躰にも似ず大酒するのが氣に入り初會の抑もよりヅッコン北山時雨と來たので色男の某も反り身になりて新町廓內鐘や太鼓で探がしたとて俺程の果報者はまたとあるまいと云つたかは知らねども桃太郎の待遇は尋常一樣でないから某も又た可愛い妓と思ひ夫よりと云ふものは月に七八度も通ふにぞ時には懷中に秋風吹くこともあるも惚れた桃太郎は無理算段しても上げ時には無理引留めて流連さすると云ふ執心なるにぞ某も桃太郎の親切に引かされ今は切つても切れぬ深い仲となり某の顏が一夜でも見へねば頭痛がして起られず電話を掛けて呼出すも懶しと床の中に潜り込むと云ふ始末にて此方から身上りして時寄すること度々なれば金の生る木を持たの桃太郎は次第に借金の嵩む計りなるも好きさんには逆ひたしと身の皮を剝いで貢に入れ上げ居れるが此果ては情死せんとも測られずと朋輩共は心配し居れりとの投書そのまゝ

●避暑案內

土用も直ぐ前に來らんとし學校やれ役所は追々避暑休みが始る此休みを如何にして消光せんかとは忽ち起る問題であるから本紙は此問題を解決する爲め避暑の好適地を案內することゝした

▲北漢山　里程は本道よりせば約五里間道は約三里にして白雲臺、仁壽、仁秀の三峰あるを以て三角山とも云ふ又其形狀兒を負ひたる如きを以て負兒岳とも稱せらる山中に寺院六あり、山狀の雄大なると景に富めるとは他に其比を見ず白雲臺より發する溪水は淸冽にして掬すべく又た潑剌たる細鱗を釣るを得べし城內の歐米人は夏期多く茲に天幕生活を行ふ左れば我邦人も綠酒紅燈の間にのみ浸潤せんより之れに傚ひ天幕生活をなし夏期中を此山中に送りては如何

●犬を殺して拋棄す

近來南大門外蓬來町の空地に於て近所の子供等が何れよりか小さき犬を捉へ來り頸に繩を掛けて引きずり廻はせし揚果其の犬が氣息奄々として殆んど半死半生の頃に至るを見計ひ石やら棒やらを以て散々に擲り終に死に至らしむるは實際殺生の惡戯なるがソレはサテ右の犬の死骸を處置せず唯其の空地の內に拋棄し置くより昨今の炎暑にありては之が死骸の直ちに糜爛し臭氣殆んど鼻もちぎれん許り近所のもの〻迷惑一方ならざるとの由なるが通行の畜公大に注意して可なり

龍山榮町（電話一二九番）
藥田淵藥局
藥劑師 田淵芳太郎

●電柱通行を妨ぐ

一昨日南山町二丁目にて電話工夫が電柱の取換をなしたる後ち道路に其儘打捨て置きたる爲め通行の妨害をなすこと甚しかりき以後少し注意あれ

●蝎甫屋を騒がす

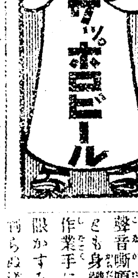
大坂生れ當時龍山靑坡に居住する桝田金次郎（十九）東本與三吉（三十）の兩人は一昨夜八時頃京城駱洞の蝎甫屋に至り淫賣を買はんとしたるに韓聖鉉（十三）と云ふが何か生意氣な事を吐かしたりとて怒り出し携ふる洋傘を以て毆り付け下駄で蹴る亂暴を働き聖鉉に微傷を負はせたるより警察に引致されたる上畜藥代五十錢を支拂ひて事濟みとなりたり

●板ドロ韓人

昨日午前五時頃旭町一丁目五三藤原指物工場前野治三郎橫路次に置きありし杉板一枚を窃取し去らんとする韓人あり前野外一人が發見し追跡して引捕へ會洞巡査派出所に突き出したり

●景品付兵兒帶賣出し

今回大阪市東區平野町四丁目山城屋於ては業務擴張紀念として綿生產縮緬兵兒帶の減價賣出しを開始し殊に景品付の上はがきにて注文せば引換小包の便法を利用し送品し來たる由にて頗る盛況を呈しつゝありと云ふ



（平）（民）（文）（庫）

▲降りみ降らずみの頃此の天候には實際閉口する各自衛生を注意し玉へ（發賣者の作）▲南大門の郵便局員は何時行つても仕應しても監柄を撥めないいまよ〳〵最後の手段に訴へるかす（小包取●●●）●●使ひ）▲近來南大門內に沿ふた城壁の上から石やら紙屑やらを下に抛つて往くる奴があるが其の筋の取締りを望む（不安生）▲前の京城新報に出て居つたが南大門の朝市の掏摸は實際です現に昨日の朝もそういふ風体の女が二三人キョロ〳〵して居つた（官舍の畜生）▲西小門通りは近頃メッキリ寂しくなりましたねソレはツマリ小料理屋が減つた爲めでせう（西小門通住人）▲支那町の水月亭とかいふ小料理屋に眼の細い鼻の高い別嬪が居る名は忘れたが何んでも彼方の女將の妹だとさ（通行の日本人）▲過日行はれた淫賣狩りは大に愉快だつた之で幾分か風紀の肅正を圖ることが出來るだらう桐原署長大に遣り玉へ（板場）▲音樂橫町とは何所でよか敎わて下さい（新來者）▲ソレは南山町の日本人倶樂部の上を右へ曲つた通りです（編輯給仕）▲雜誌朝鮮で舉行した懸賞寶探しは不正淡の爲めにれチャンとなつたが併し更に十圓を增して三十圓となし雜誌を買ふ人に抽籤で進呈することゝしたのはまことに宜い方法です（公平生）▲本町六丁目の競賣所は馬鹿に品物が廉い散歩かた〴〵皆さん行つて御覽なさい（通行生）

◉天氣豫報

（自十日午後六時 至十一日午後六時）

十日午前六時各地氣象概況

南又は西の風曇後晴

中部は降雨し其他は概ね曇天にして木浦附近に濃霧あり

廣告

●他人の毒病を感受する狀態

（最も親切なる速治療法）

近時花柳病の流行殊に甚しく專門醫の實驗に依れば百人中八十五人餘を算すと云ふ其蔓延する狀態は常に社交の裏面に於て人より人に傳染するものにて癩病、疳瘡、橫痃、梅毒等の源因は既に同一なれば何れも同一毒なりと速斷する人の多きも實際其梅毒を相異にするもの故普通一樣の藥劑にて根切せざるは當然なるべし而も其實地は梅毒癩病の混合傳染に罹る塲合極めて多く其理由は賣婦が數人の客に接する際其內の甲客に癩病乙客に梅毒あれば丙客は不幸にも甲乙二客の病毒の混合傳染するを常とす近來支那輸入の病毒に此種類頗の多しと云ふ癩病は傳染後早く發病し梅毒は潛伏期永き故隨つて遲く而も發病後一旦消褪して更に他部に顯れ其他痔が起り毛髮脫落し咽喉痛み發音斷嗄し心持常に鬱憂し顏色惡く働かすとも身體倦怠し手足に力なく讀み書き又は作業手に附かず頭痛ありて記臆力減じ或は限かすみて十分見へぬ事あり自身で何病か判らぬ樣になる左れば始め癩病の時に專門醫の診察を受るも凡そ診斷は現病の微候に因り判斷するもの故其癩病のみは確に發見するに由なきものなれば本病の人は多くの場合に於て必ず混合傳染を主るべからず又梅毒の方も混合傳染にて未發の梅毒等は診斷上…此れ治療上の必要條件なれば凡そ梅毒癩病を根本的に治療するには必ず唯一丸を用ふべし唯一丸は獨逸の大家ホフマン博士（最近梅毒の病源體を發見して醫學界を驚動せしめたる偉人）の處方に則り其主藥（原料）現世に於ける唯一の驅毒藥として醫學者に最も尊重せらるゝ藥劑を以て成り立ち即ち驅梅藥と驅毒藥とを治療學上合理的に配合したれば其病症に依り輕きは一二週より重きも一ヶ月程にて拭ふが如く根治す此病に對し幾多妙藥ありと雖も其病理原因を精密に調査し最も親切に調劑したる唯一丸の如きは世上未だ其例を見ず之本病患者の信賴するに足る所なり故に生來多毒質の人は速に唯一丸を試み面白き程効あるべし又癩病の人が之を妻妾に傳染せし場合婦人の方は感染し乍らも刺戟症のない爲めに何の氣もなく全く自分は健康の樣に思ふて居るも是が即ち潛伏する婦人癩病（せうかち）にて同衾の爲めに再發するも最も多き時賣なれば相互に治療肝要なるべし

藥價●三日分五十錢●七日分八十錢●十四日分一圓五十錢●卅日分三圓（內國無遞送料）

●本病患者の爲に其病理養生及治療法を懇切に詳述したる册子無代施本送料三錢要す

發行所 東京市本鄕區湯島天神表門中坂上 藥劑師 中西莊吉（電話下谷五百四十七番）（振替貯金口座（千五百番））

韓國代理店
仁川本町二丁目 新井藥房
京城本町三丁目 新井藥房支店

○土耳古金口煙草GD インペリアル 各種 茶褐色スポルト
京城代理店 歐米雜貨商 京城本町六丁目 岡野商店

月刊 朝鮮 每月一回一日發行 定價廿錢 郵稅一錢 一切前金
京城本町二丁目 日韓書房

夏季最良御菓子
紅葉山 クルミプル 泡雪 玉垂 松スワマ 葛饅頭

○食パン 原料精撰
右御申込に依り毎日出來上りしもの配達可仕候
和洋御菓子パン製造所 京城本町四丁目 貞島寒水堂 電話一四一番

表裝專門 並ニ金屛風
京城壽町一丁目 表具師 竹堂

模倣新機
ちりめんあをおび
白縮緬兵子帶
●景品 壹本に壹品宛進呈 大星添物發表●東京洛衣地●新博多夏用角帶●舶來目醒時計●合成銀懷中時計●色朱子女帶地●新案靴等以下略
大市壹丈 壹圓九拾錢
中市壹丈 壹圓六拾錢
●春日印 壹丈物 參圓貳拾錢 ●春日印 八尺物 貳圓八拾錢
貳本以上買求の方送料不要 意に適せねば返品不苦
品優美 高尚一見濃縮緬に似て而も代價は其三分の一に過ぎす經濟無比の德用品なるを以て紳士學生官吏職工始め一般各位の好評を博す殊に本年は大景品進呈御注文本願候內地送料拾七錢海外參拾五錢◎泉銀泉錢紺等色物廿錢上り
見本帳 はがきにて御請求あれば進呈仕候
大阪市東區平野町四丁目 山城屋 振替貯金口座第七〇貳壹番

警視廳御檢查濟
一朝日印ポンス
製造監督藥劑師 濱口源太郎
ポンスは飲料水或は氷水等に混和すれば水傷の憂を省き且つ其の味甘美にして夏季衛生飲料の親玉なり
製造本舖 京城本町二丁目 井口順生堂藥店 電話一九九番
京城一手特約販賣所 京城本町七丁目 富田商店

特約店
本町二丁目 井口順生堂藥房
同 荒木壽生堂藥房
同 近藤貴生堂
平壤大同門通 古城贊化堂
同 新井回生堂

安眠
北條濟生堂
發行所 大阪市北區堂島中貳丁目

販賣店
京城本町一丁目 山岸天祐堂
同 二丁目 荒木壽生堂
同 三丁目 近藤貴生堂
同 四丁目 古城贊化堂
同 五丁目 丸正藥房支店
同 河又大藥房
同 七丁目 稻田大藥房
同 八丁目 田島大藥房
龍山旭町 松下大藥房
龍山 林大藥房

特約販賣店
開城南大門外 瀧井大藥房
平壤大和町 森田大藥房
同 大同門通 新井大藥房
仁川港町三丁目 篠永大藥房
釜山幸町 大黑南海堂

特約大販賣
本町三丁目 龜屋商店
本町一丁目 靑木堂

賜東宮殿下御買上之榮 清國領事館御買上品 韓國京城博覽會褒狀受領
滋養強壯 人參飴
世界第一等の滋養品 牛乳鷄卵に優る効數倍
元祖發賣元 京城本町二丁目 井口順生堂藥房 電話九六九番

見落す勿れ 韓國唯一の土産